



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	株式会社 シノミヤ藤枝工場増築工事	BEE	1	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.5	/5	ふつつ			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.1	/5	ふつつ			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.4	/5	がんばろう			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.4	/5	がんばろう			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。				
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		得点	3.5	
<ul style="list-style-type: none"> ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) <ul style="list-style-type: none"> ・タイル貼り 40年程度 ・上位3種B使用、Eは不使用 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> 対策なし ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) <ul style="list-style-type: none"> ・BPI値 0.62 ・BEI値 0.75 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) <ul style="list-style-type: none"> ・省水型便器、自動水栓を設置 ・防水工事のプライマーは有害物質を含まない ・リサイクル材を3つ以上使用している。 ・断熱材は全てノンフロン品を使用している。 ・仕上げと躯体の分別が容易にできる。(スタッド65、スタッド100を使用) ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> ・ライフサイクルCO2排出率 86% 	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑫ 2.1.2 ⑫ 2.1.3 ⑫ 2.1.4 ⑫ 2.1.5 ⑫ 2.1.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑪ 運用管理体制 ⑫ 雨水利用システム導入の有無 ⑬ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑭ 材料使用量の削減 ⑮ 既存建築躯体等の継続使用 ⑯ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑰ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑱ 持続可能な森林から産出された木材 ⑲ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑳ 有害物質を含まない材料の使用 ㉑ 消火剤 ㉒ 断熱材 ㉓ 冷媒 ㉔ 地球温暖化への配慮 ㉕ 温熱環境悪化の改善		
	"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)		得点	3.1
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) <ul style="list-style-type: none"> ・耐震Sクラスの機械支持方法を導入している。 	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑲ 電気設備 ⑲ 機械・配管支持方法 ⑲ 通信・情報設備	
	"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		得点	2.4
	<ul style="list-style-type: none"> ■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) <ul style="list-style-type: none"> ・階高にゆとりがある(増築部①:3.75m、増築部②:6.03m) ・将来の用途変更等に対応可能な設計となっている。(壁比率 0.18) ■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱ 3 3.1 3.1.1 ⑲ 3.1.2 ⑲ Q-3 3 3.1 ㉑	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		得点	2.4	
<ul style="list-style-type: none"> ■室外環境(敷地内)対策 (⑵生物環境の保全と創出/⑶まちなみ・景観への配慮/④敷地内温熱環境の向上) <ul style="list-style-type: none"> 対策なし ■敷地外環境対策 (⑵温熱環境悪化の改善) <ul style="list-style-type: none"> 対策なし 	Q-3 1 ⑵ 2 ⑶ 3 3.2 ④ LR-3 2 2.2 ⑵	⑵ 生物環境の保全と創出 ⑶ まちなみ景観への配慮 ④ 敷地内温熱環境の向上 ⑵ 温熱環境悪化の改善		

CASBEE⁺-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 シノミヤ藤枝工場増築工事	階数	地上2F
建設地	静岡県藤枝市横内2270, 2271, 2272	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2019年8月26日
敷地面積	6,610 m ²	作成者	(株)エネ・グリーン 坪田彩乃
建築面積	1,740 m ²	確認日	2019年8月26日
延床面積	2,529 m ²	確認者	(株)エネ・グリーン 定森淳一



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 92 (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 46 (kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外のオンサイト手法: 46 (kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+オフサイト手法: 46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>主に利用者が快適に過ごせるよう、設計に考慮がされている。節水器具の設置、リサイクル材、ノンフロン断熱材を使用し環境負荷低減に努めている。交通負荷の抑制に努めており一部敷地外環境への配慮を行っている。</p>		<p>CASBEE静岡2016年版による評価結果である。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昼光率3.96% ・ 化学汚染物質の発生する建材を使用しない。(F☆☆☆☆) ・ 窓の開放により自然換気を行える。(開口部 3.09 m²) ・ 建物内を禁煙とする。 	<p>Q2 サービス性能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一人あたり執務スペース 10.8m²を確保している。 ・ 休憩室、自動販売機を設置しリフレッシュスペースを確保している。 ・ 維持管理に配慮した設計を計画している。(防汚性の高い建材、防鳥ネット、水切り) ・ 耐用年数の長い外壁材、配管を使用している。 ・ 災害時に機能維持が可能な耐震クラスを確保している。 	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>対策なし。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物外皮の熱負荷抑制により冷暖房の消費エネルギーの削減が可能。 	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 省水型便器、自動水栓により水資源の保護に努めている。 ・ リサイクル材を活用している。 ・ 有害物質を含まない材料を使用している。 ・ 断熱材は全てノンフロン品を使用している。 	<p>LR3 敷地外環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ライフサイクルCO₂排出率86% ・ 燃焼設備の設置なし。 ・ 荷さばき場、駐輪場、駐車場の確保により交通負荷の抑制に努めている。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for たいたい Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい